

大井町の小動物

水中昆虫



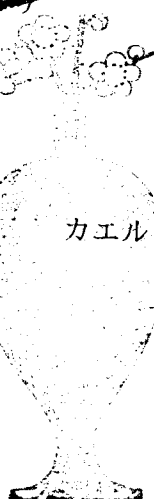
トンボ



ヘビ



カエル



大井まちづくり

コミュニティ研究会

平成7年3月31日
(1995年)

活動報告書 Vol. 9

平年（1930年～1942年の統計に基づく）		〔あなた自身の記録〕		
2月15日	白梅の開花日	年	月	日
2月28日	ウグイスの初鳴き日	年	月	日
	ヒバリの初鳴き日	年	月	日
	ジンチョウゲの開花日	年	月	日
3月10日	モンシロチョウの出現日	年	月	日
20日	イエコウモリの出現日	年	月	日
	ヒキガエルの出現日	年	月	日
	カントウタンポポの開花日	年	月	日
	アブラナの開花日	年	月	日
31日	ツバメの渡来日	年	月	日
	トカゲの出現日	年	月	日
	蚊の出現日	年	月	日
	ソメイヨシノの開花日	年	月	日
4月10日	アマガエルの初鳴き日	年	月	日
	ゲンゲ（レンゲ）の開花日	年	月	日
20日	ヤマカガシの出現日	年	月	日
	アオダイショウの出現日	年	月	日
5月31日	ゲンジボタルの出現日	年	月	日
7月 5日	エイニゼミの初鳴き日	年	月	日
10日	ヒマワリの開花日	年	月	日
20日	アブラゼミの初鳴き日	年	月	日
	ヒグラシの初鳴き日	年	月	日
31日	ミンミンゼミの初鳴き日	年	月	日
8月10日	ツクツクボウシの初鳴き日	年	月	日
20日	オミナエシの開花日	年	月	日
9月10日	モズの初鳴き日	年	月	日
	ヒガンバナの開花日	年	月	日
30日	ツバメの渡去日	年	月	日
10月20日	カモの渡来日	年	月	日
31日	ツグミの渡来日	年	月	日
	ヤマカガシのちつ居日	年	月	日
11月10日	アマガエルの終鳴日	年	月	日
20日	モンシロチョウの終見日	年	月	日

自然は私たちの身のまわりにあり、生き物は庭先で見ることができます。自然の美しさや生き物の不思議さを感じるためには、一步外へ出てみればじゅうぶんといってもよいでしょう。

テレビゲームやファミコンやアニメ番組よりも、自然の生き物の変化や種類の多さの方がずっと面白いはずです。さいわい、大井町にはこどもが遊べる自然がまだ残っています。虫を採ったり、草をつんだり、魚をつかまえたりして遊べる自然があるというのは幸福なことです。

町のどこでどんな生き物が見られるのでしょうか。町にはどのくらいの生き物がいるのでしょうか。それを知るためのきっかけになればと考えて、この自然観察ガイド（動物篇）を作りました。

月ごとにちがった自然観察のテーマが設定してあります。単なる図鑑の引き写しにならないように、大井町で観察できる内容にしぼってみましたが、十分ではありません。それに魚やザリガニなどの水生生物の内容がありませんし、ほ乳類の情報も入れることができませんでした。

このガイドはこれまでの自然調査の結果を報告したものではなく、これからの自然観察のきっかけを示したものと考えてください。

つまり、このガイドは「読む」ためのものではなく、実際に「使う」目的で作りました。このガイドとボールペンを手にもって、外へ出かけてほしいのです。

ページの下の方に自分の「観察記録」をメモするところがあります。

ここに気がついたことを書きこんで、あなただけの自然観察ガイドを作ってみて下さい。

自然観察ではふつう次の5つを記録します。特に始めの3つは必ず記録しておかないと後で役に立たなくなってしまう。また、生き物の名前を正確に知るためには実物が必要です。

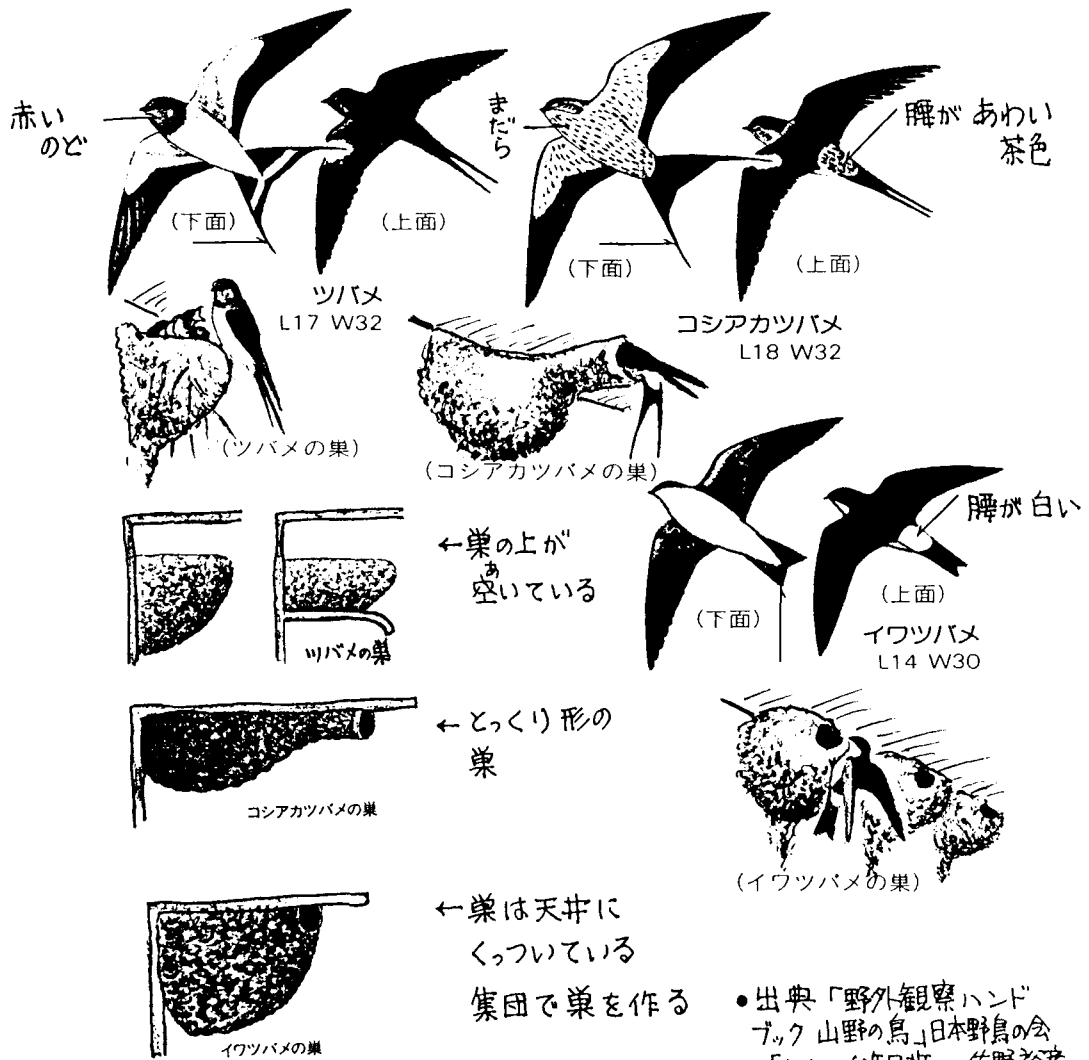
- | | |
|--------|---------------------------------------|
| 1) いつ | [例] 1995年 8月12日 16時 |
| | [西暦で記録する] [時刻はできれば24時間表示] |
| 2) どこで | [例] 大井町金手の畑地 |
| | [必要に応じて環境や略図も記録する] |
| 3) だれが | [例] 大井太郎 [固有名詞で記録する] |
| 4) なにを | [例] モンキアゲハ 成虫 |
| | [種類が不明なら採集や撮影をして標本や証拠を残す] |
| 5) 行動 | [例] 花にとまった |
| | [動物のばあい、観察した生き物がどんな行動をしていたかを記録しておくとい] |

ではさっそく外へ出てみましょう。

4月

4月4日

今年初めてツバメを見ました。新松田駅です。大井町内ではツバメ，コシアカツバメ，イワツバメの巣が見られます。



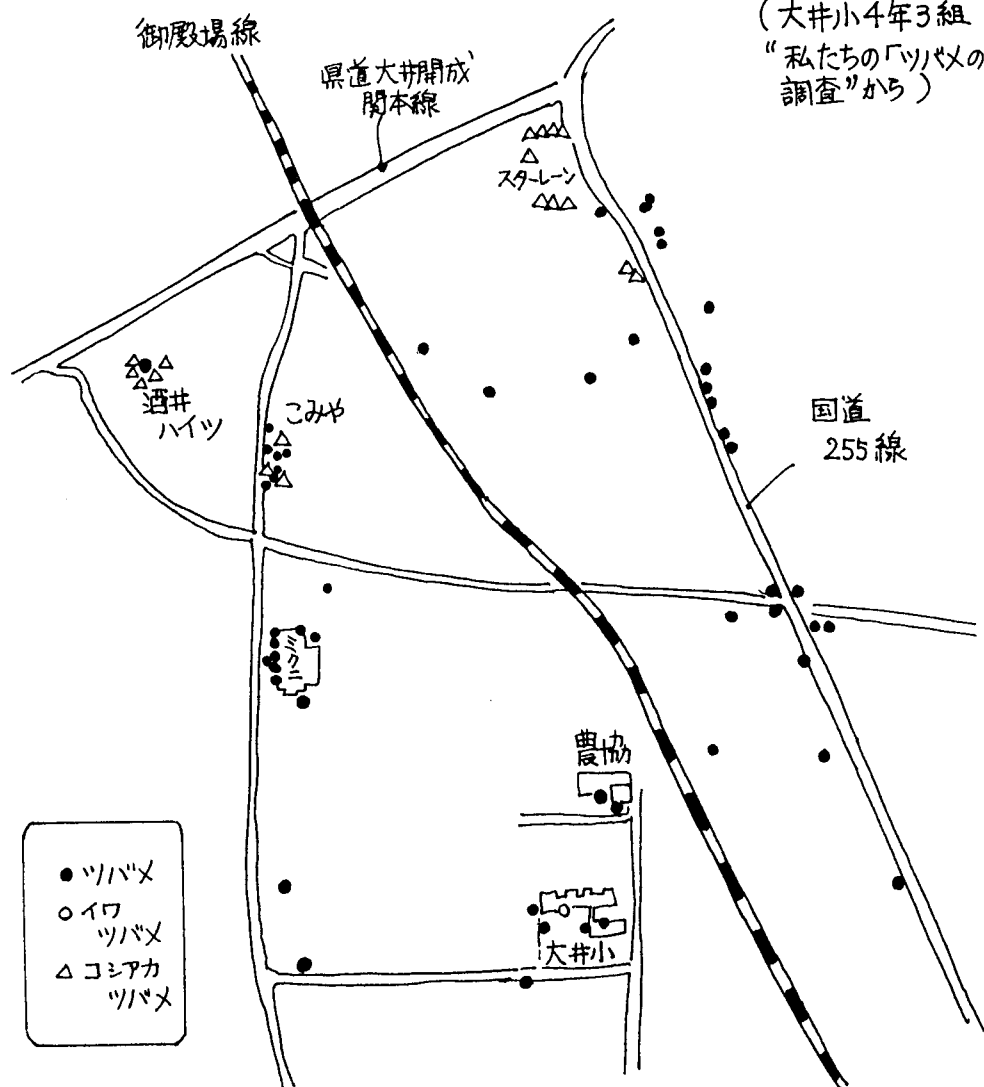
●出典「野外観察ハンドブック 山野の鳥」日本野鳥の会「とり」(来口哲一、佐野裕彦、文一総合出版)

〔観察記録〕

- 1) この春、初めてツバメを見たのは
年 月 日 (場所)
- 2) コシアカツバメの巣を見つけたのは
年 月 日 (場所)
- 3) ツバメの巣にひながいたのは
年 月 日 (場所)

1993年大井小学校学区
ツバメの巣の分布図

(大井小4年3組
“私たちの「ツバメの巣」
調査”から)



〔 観 察 記 録 〕

- 1) イワツバメの巣を見つけたのは
 年 月 日 (場所)
- 2) 飛んでいるツバメ類を見つけたのは
 年 月 日 (場所)

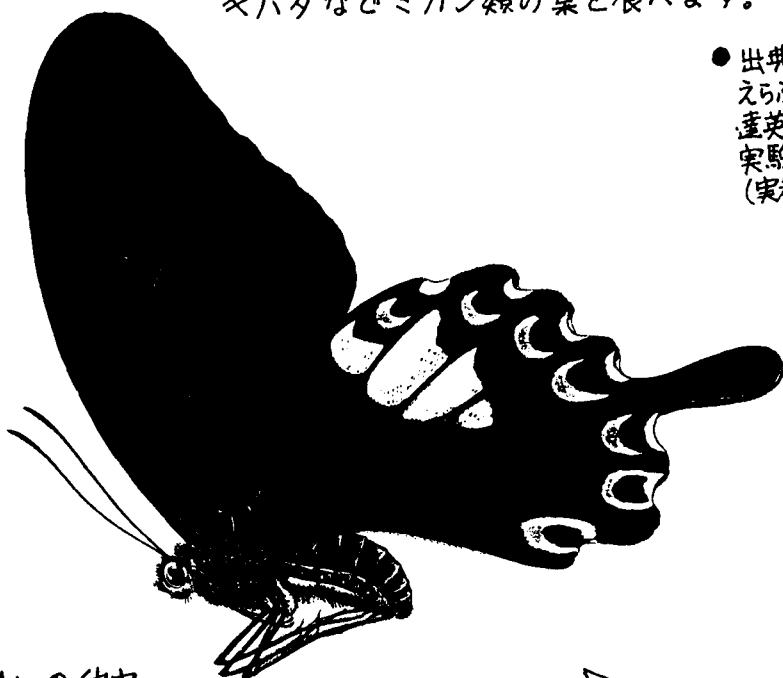
5月

5月5日

うし ばね もん
後ろ翅に白い紋のあるアゲハチョウが飛んでいま
た。モンキアゲハでした。

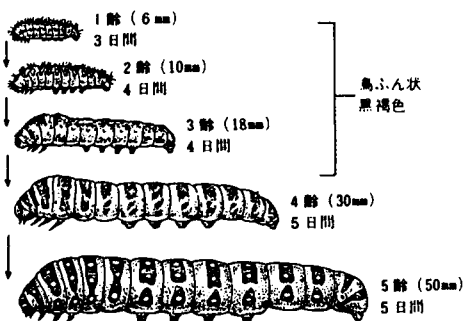
あたた
暖かい地方のチョウで。幼虫はカラスザンショウや
ギハダなどミカン類の葉を食べます。

●出典「花がえらぶ 虫が
えらぶ」(山下恵子, 松岡
達英, 偕成社), 「図解
実験観察大事典」
(実教出版)



ギアゲハの幼虫

シシウドやミツバ, ニンジン
の葉を食べます。



4～5 齢時の模様



モンキアゲハの さなぎ



〔観察記録〕

1) モンキアゲハを見たのは



年 月 日 (場所)

)

2) ギアゲハの幼虫がセリ科の葉を食べていた



年 月 日 (場所)

)

3) モンシロチョウを見たのは



年 月 日 (場所)

)

5月

5月5日

もうすぐ田んぼに水が入り、アマガエルの合唱が聞かれます。

アマガエルより少し早くシュレーゲルアオガエルがなきはじめました。

▽アマガエル

▽トウキョウダルマガエル

鼻から目、耳を通る暗色のすじ

緑色または淡褐色で斑紋のあるものもある

鼻先は丸い

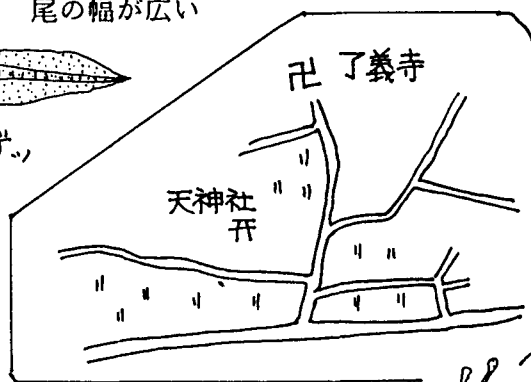
吸盤

オタマジャクシ 尾の幅が広い



♪ ゲッゲッゲッ

● 出典 (国)
来口哲一
「相模の動物」
(平塚市博物館)



緑色かあずき色で斑紋はない

シュレーゲルアオガエル ▶

背中中央に淡色のすじ

独立した斑紋

背側線

シュレーゲルの声がよく聞かれます
(山田地区)

♪ キリリ, コロロ

鼻先は尖る

発達した吸盤

〔観察記録〕

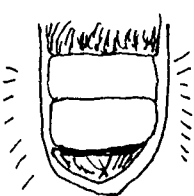
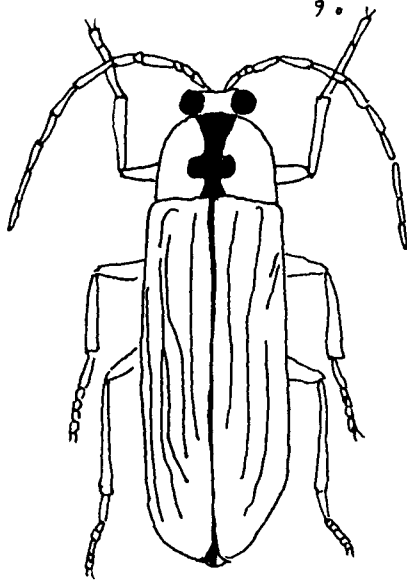
- 1) シュレーゲルアオガエルの鳴き声を聞いた
年 月 日 (場所)
- 2) アマガエルが鳴き始めたのに気が付いた
年 月 日 (場所)
- 3) トウキョウダルマガエルの声を聞いた
年 月 日 (場所)

6月

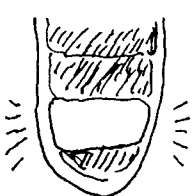
6月6日

ホタルが飛ぶのを見ました。夜の8時くらいがいちばんたくさん飛んでいます。

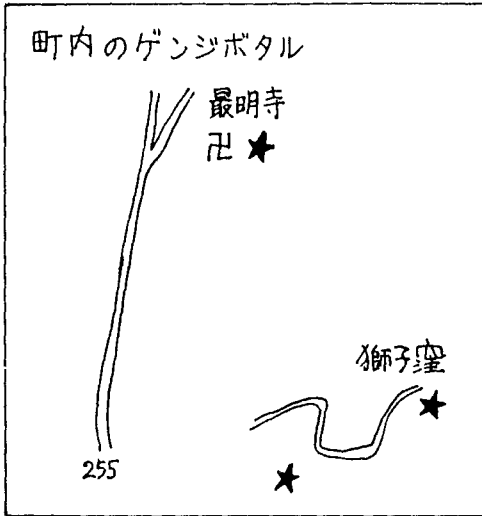
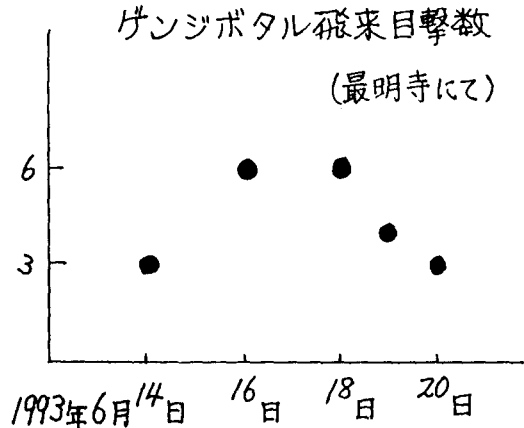
ゲンジボタルのオスです。腹節が2つ光っています。



オス



メス



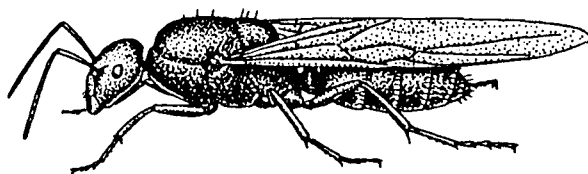
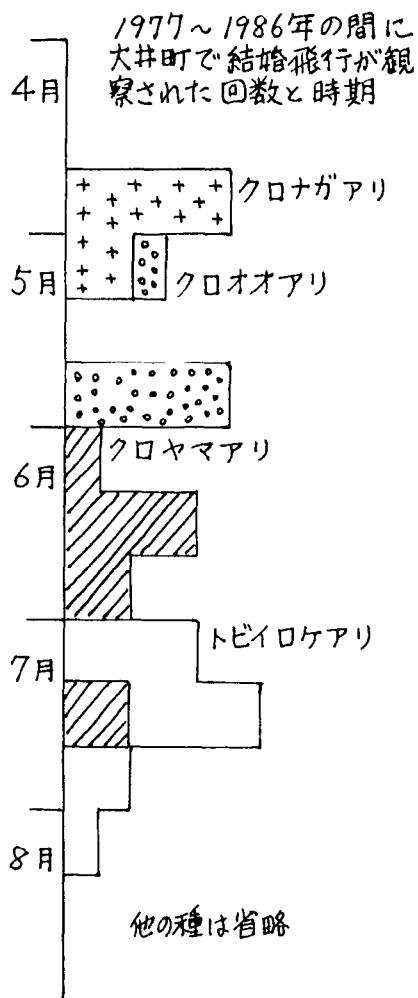
〔観察記録〕

- 1) ゲンジボタルが飛ぶのを見たのは
 年 月 日 (場所))
- 2) 何時ごろに何匹飛んでいたか
 時間 時 分 (場所))
- 3) オスとメスを区別することができた
 年 月 日 (場所))

6月

6月6日

は羽アリが飛んできました。結婚飛行があったのでしよう。気温23℃以上、湿度65%以上、微風の条件で飛ぶようです。
町内では約50種のアリが記録されています。



クロオオアリの女王
Camponotus japonicus



クロナガアリの女王
Messor aciculatus



サムライアリの女王
Polyergus samurai イラスト：吉谷昭憲

- 文献 酒井春彦「足柄上郡大井町におけるアリ類の結婚飛行の観察記録」(神奈川県自然誌資料8:95-97, 1987)。酒井春彦「羽アリは巣の創設後何年目に現れるか」(インセクトリウム(291):78-80, 1988)をもとに作成

〔観察記録〕

- 1) 羽アリを見ましたか

年 月 日

天候

気温

風の様子

- 2) どんなアリでしたか

採集しておいて下さい

表1 巣を創設後初めて雌雄の羽アリが出現するまでの期間
クロオオアリとクロナガアリは羽アリで越冬して翌年飛び立つ。サムライアリは春から初夏にかけて羽アリを育て、その年の夏に飛び立つ

種 類	羽 化	飛び立ち
クロオオアリ <i>Camponotus japonicus</i>	7年目	8年目
クロナガアリ <i>Messor aciculatus</i>	6年目	7年目
サムライアリ <i>Polyergus samurai</i>	4年目	4年目

7月

7月7日

土の中からセミが出て来ます。幼虫からセミが出てくるのを見たことがありますか。

ぬけがらがたくさんある場所へ、暗くなったら行ってみませんか。

- ■からだはまるくて、全身に泥をかぶる（体長24mm以下）
→ ニイニイゼミ



- からだは細長くて泥はかぶらないか、かぶっても一部のみ

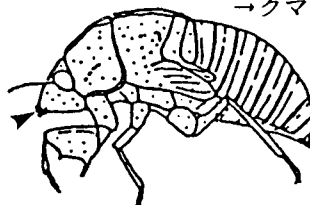
- 体長24mm以下。触覚は8節。
（26mmぐらいの個体もあるので確認が必要） → ①へ



- 体長26～32mm。触覚は7節。
胸の幅は約15mm。 → ②へ



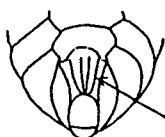
- 体長33mm以上。触覚は8節。
胸の幅は18mm以上。頭を横から見ると、三角形に強く角ばる。
→ クマゼミ



●性別の見分け方



オス



メス

腹の先端を裏側から見る

- ① → ■細長く光沢がない。触覚の第4節は第3節より短い。
→ ツクツクボウシ



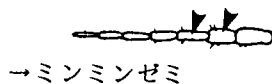
- 体はまるく光沢がある。触覚の第4節は第3節の約1.5倍の長さ。
→ ヒグラシ



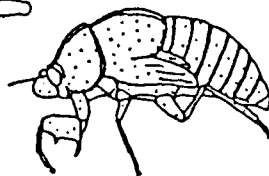
● 出典
「大磯丘陵のセミ」
(大磯町郷土資料館)

湘南地域のセミの見分け方（槐他, 1991より改図）

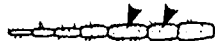
- ②→ ■触覚の毛は少なく、第3節は第2節と同じ長さ。第2節より先は急に細くなる。



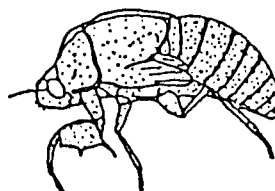
→ミンミンゼミ



- 触覚は毛深く、第3節は第2節の1.5倍の長さ。第2節より先は急に細くならない。



→アブラゼミ



- 番外 -

湘南地域では5月から6月に出現するハルゼミ。夏の調査では見つかる可能性が少ないので、上記の検索から除外した。

①のグループのヒグラシに似ているが、触覚が第7節であること、第4節が第3節の3倍以上の長さであることで区別できる。



湘南地域のセミの見分け方（続き）

〔 観 察 記 録 〕

- 1) アブラゼミの脱けがらを見たのは



年 月 日（場所

）

- 2) 羽化するセミを見たことがある



年 月 日（場所

）

- 3) 他のセミの脱けがらを見つけた



年 月 日（場所

）

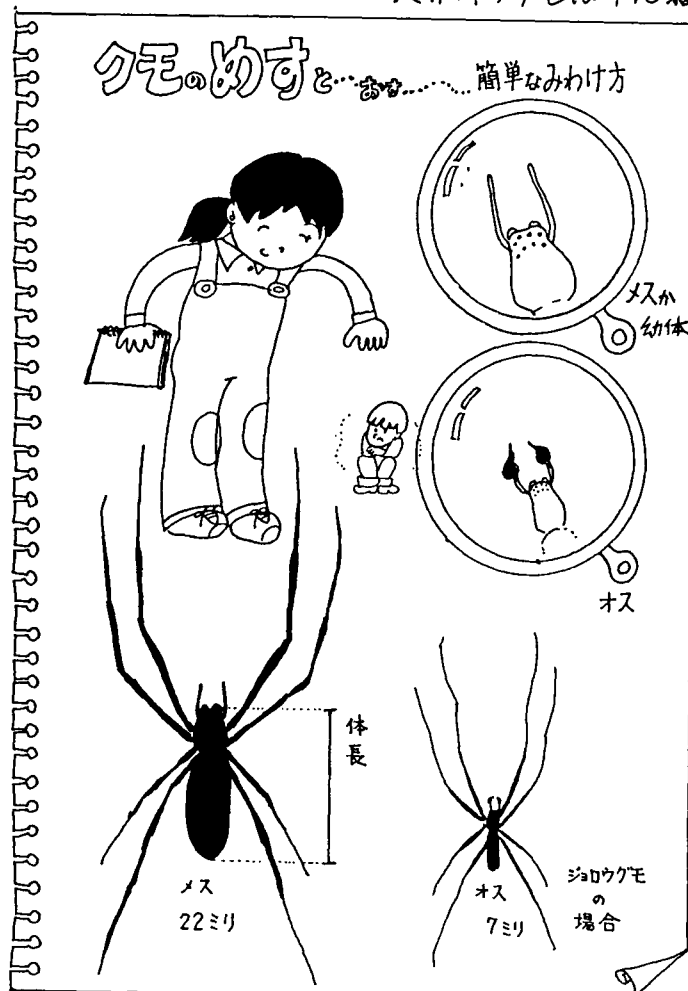
7 月

7月7日

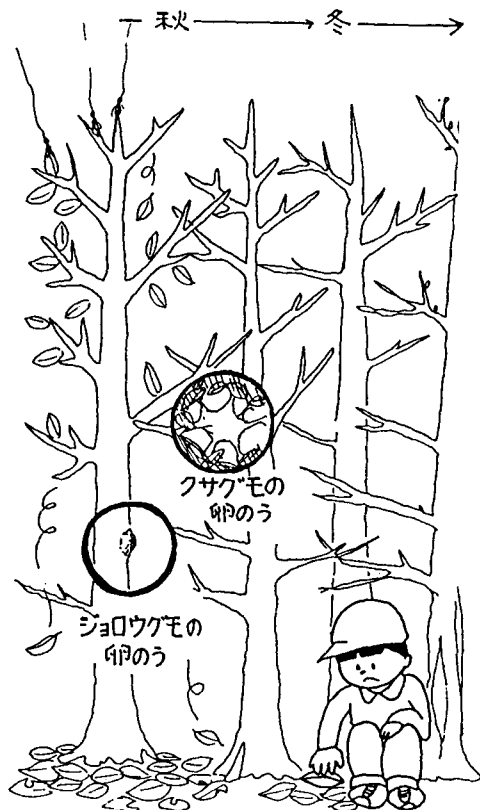
あみ
ヒメグモのメスの網にオスが来ていました。もうすぐメスが最後の脱皮をして、親になります。

オスは他のオスからメスを守っています。ケンカをして負けることがあります。

大井町のクモは 175 種 記録されています。



クモとの出会いは
いつでも どこでも
— かきねで ミニ観察会 —



落ち葉の中のクモ

● 出典 熊田理恵「クモ 雑学講座」(自刊)

(観察記録)

1) クモのオスを見つけたことがある

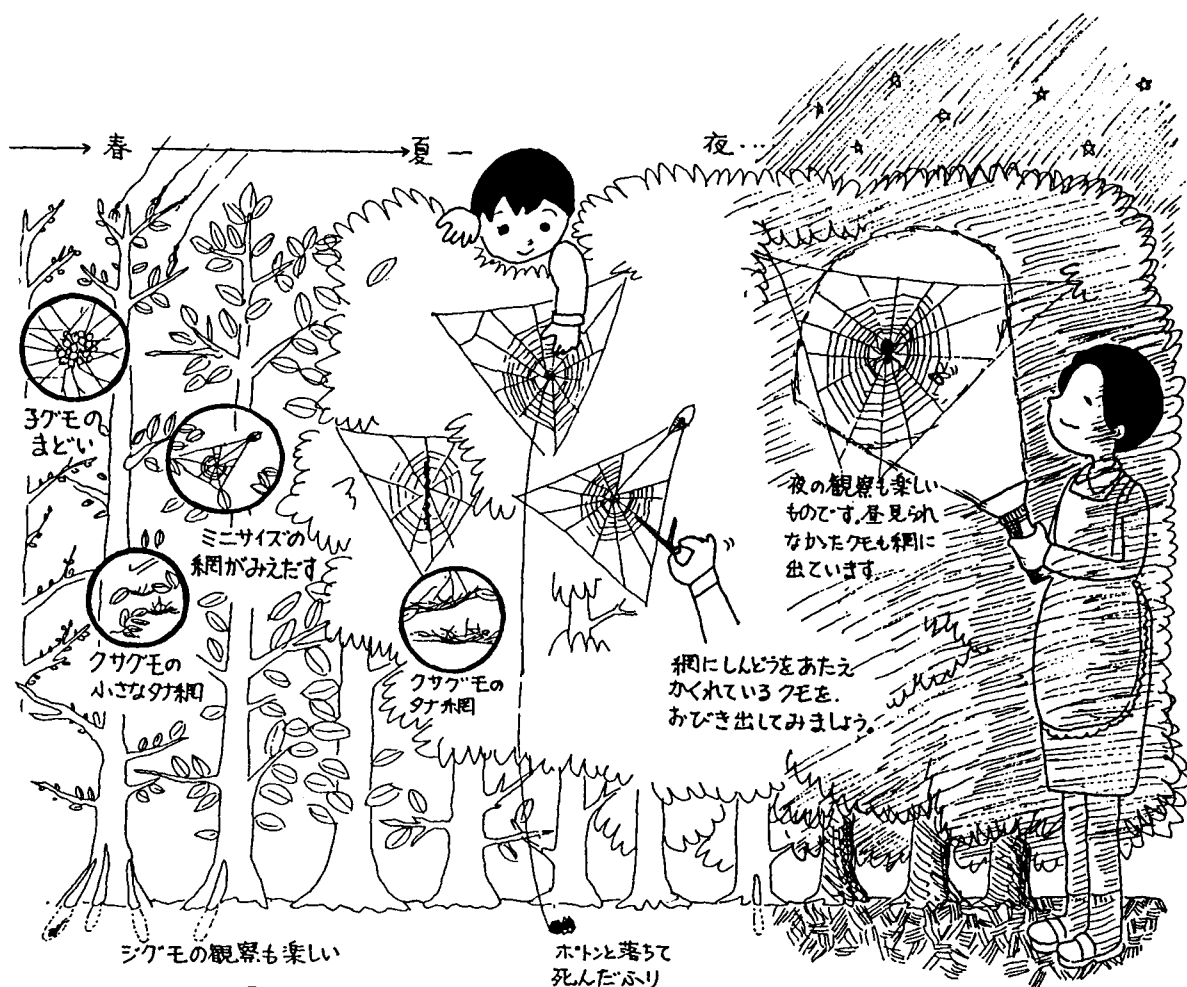
年 月 日 (場所)

2) 網を張らないクモを見つけたことがある

年 月 日 (場所)

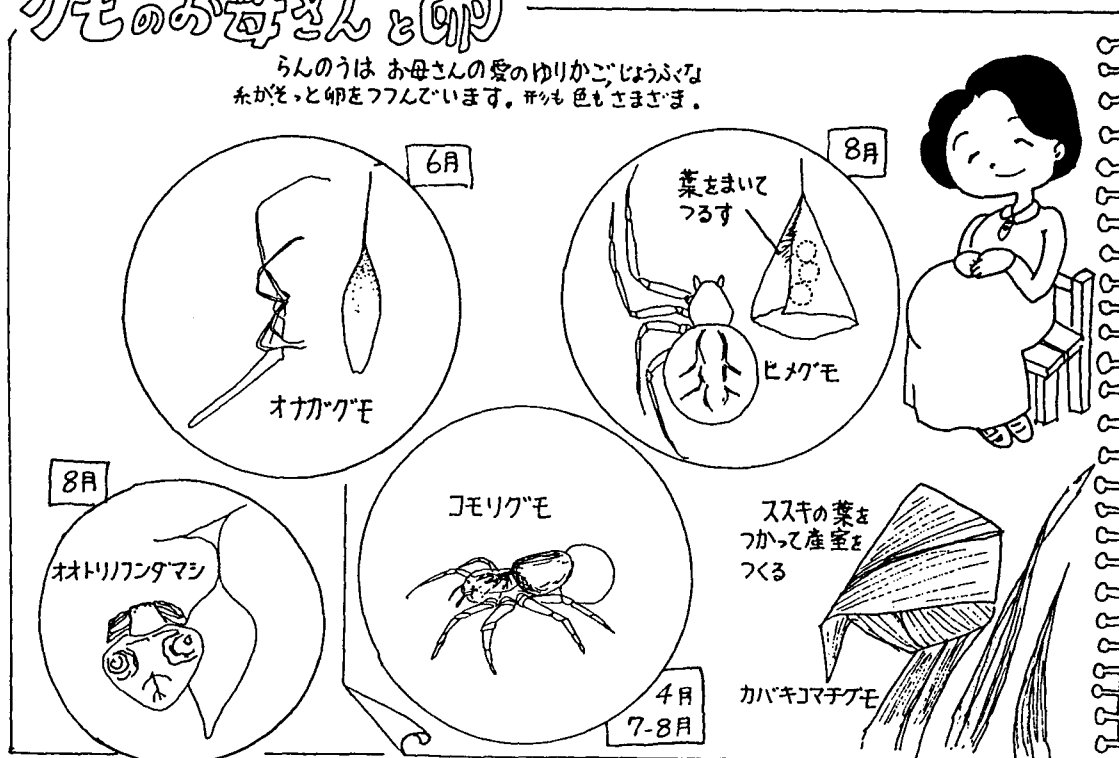
3) クモの網に虫がかかっていたのを見た

年 月 日 (場所)



クモのお母さんと卵

らんのうは お母さんの愛のゆりかごじょうぶな
糸がそと卵をつんでいきます。キツも 色もさまざま。

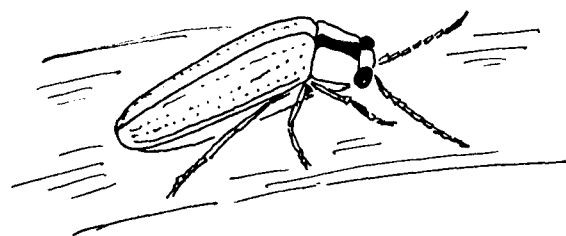
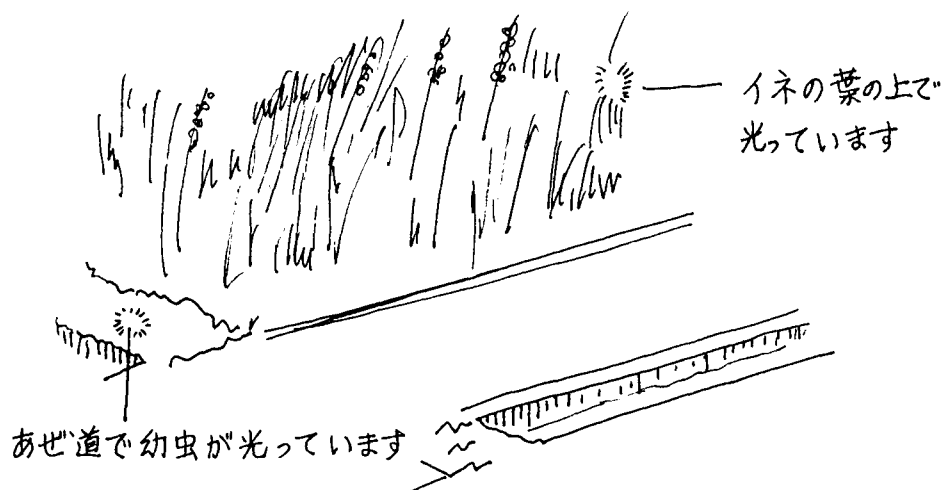


8 月

8月8日

田んぼで光るのはヘイケボタルです。もうだいぶ減ってきました。

オスもあまり飛び回りません。ゲンジボタルより小さいボタルです。



ヘイケボタルの特ちょう

- (1) ゲンジボタルより小さく、発生時期が遅い
- (2) 水田によく見られ、あまり飛はない



〔観察記録〕

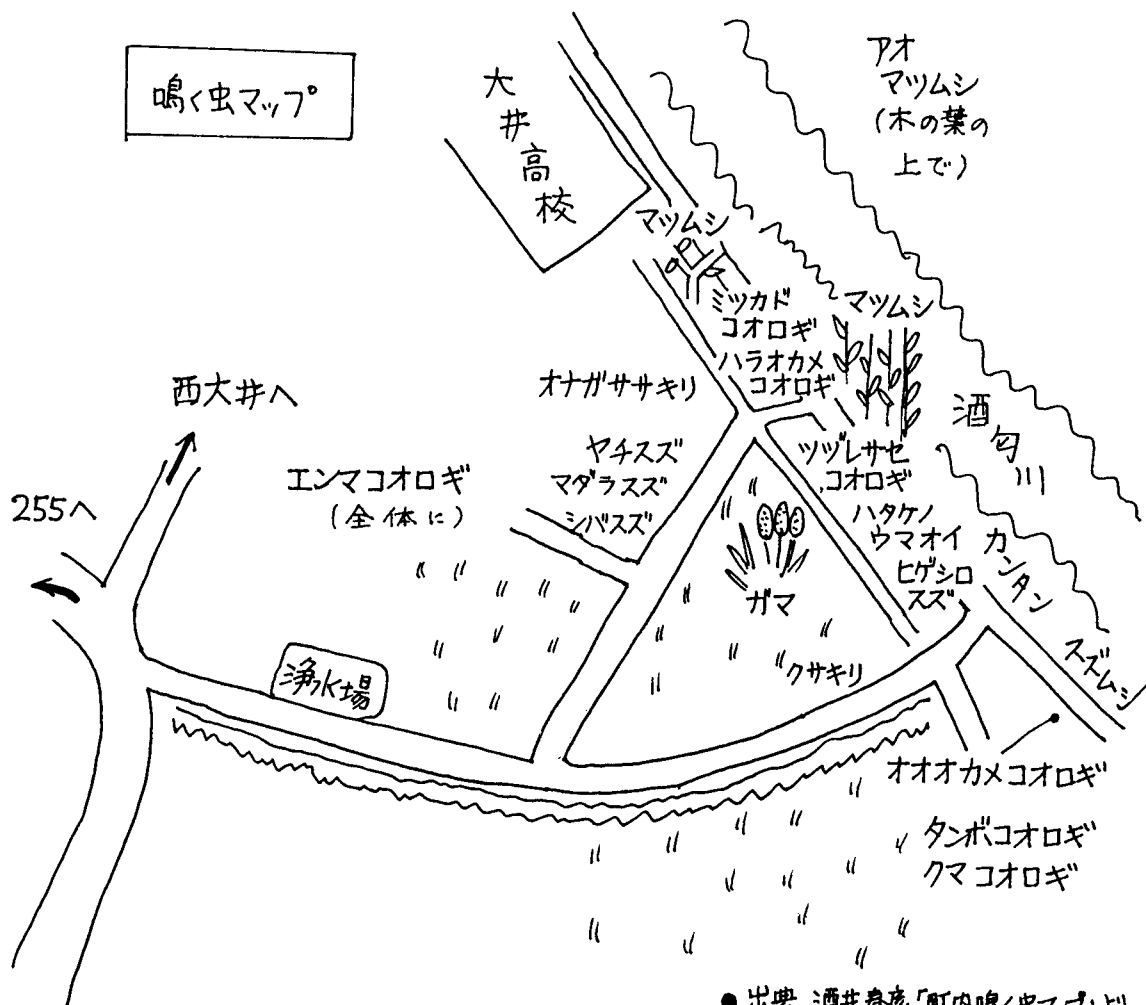
- 1) ヘイケボタルを見たことがある
 年 月 日 (場所)
- 2) 幼虫が光っているのを見たことがある
 年 月 日 (場所)

9月

9月9日

夜、川原へ出て、目をとじるといろいろな虫の声がかえりました。

鳴く虫マップ



● 出典 酒井春彦「町内鳴く虫マップ」より

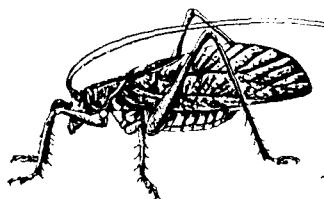
〔観察記録〕

- 1) ハタケノウマオイがスイッチョンと鳴くのを聞いた
 年 月 日 (場所)
- 2) エンマコオロギの鳴き声があった
 年 月 日 (場所)
- 3) ミツカドコオロギの三角形の頭を見た
 年 月 日 (場所)

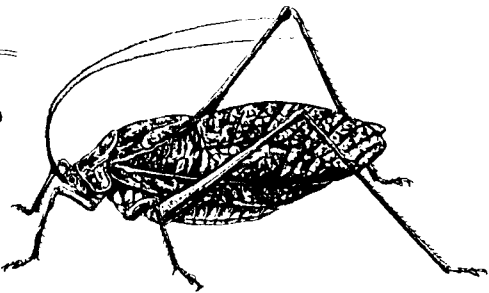
ヤリギリスの仲間



● セシヅムシ
● ナミヅムシ



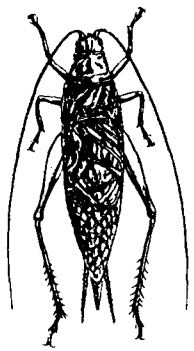
● ウマオイ
(ハタケ, ハヤシノ)
スイッチョン



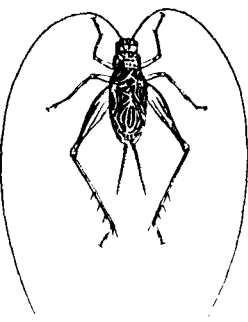
● クツワムシ
● クサギリ
● オナガササギリ
● ギリギリス
● ヤブギリ



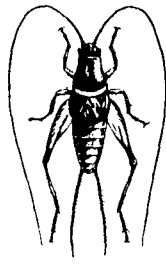
コオロギの仲間



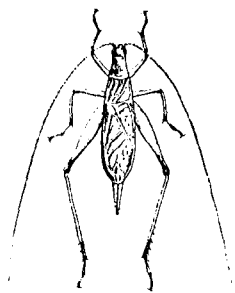
● アオマツムシ



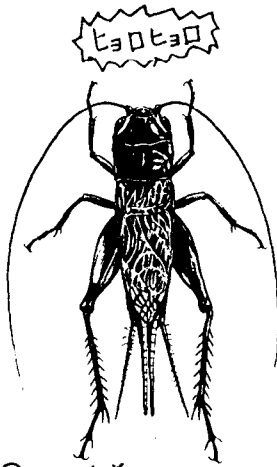
● クサセノリ



● カネタギ

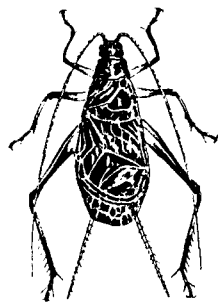


● カンゲン

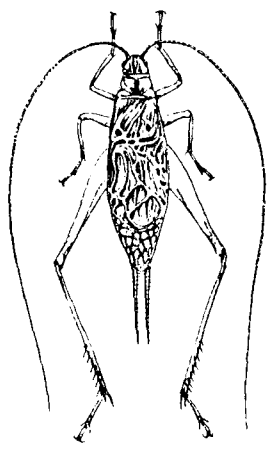


● エンマコオロギ

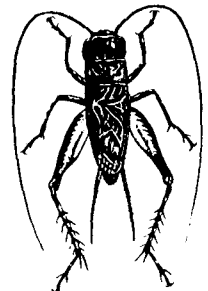
■ 飛ばない
■ 歩行のみ
■ 酒匂川の土手ぞいのスケサだけ
に生息する



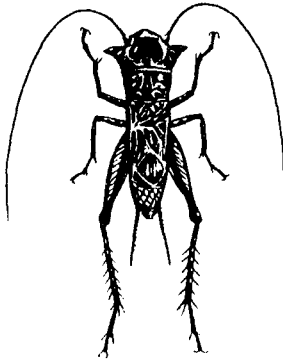
● スズムシ
● クマスズムシ



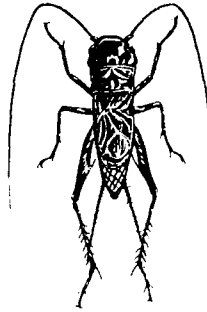
● マツムシ



● ツゾレサセコオロギ



● ミツカドコオロギ



● ヒゲシロスズ
● ヤチスズ
● マダラスズ
● シバズズ

● クマコオロギ(足がオレンジ色)
● タンボコオロギ
● オカメコオロギ(ハラ, モリ, タンボ, オオ)

秋の

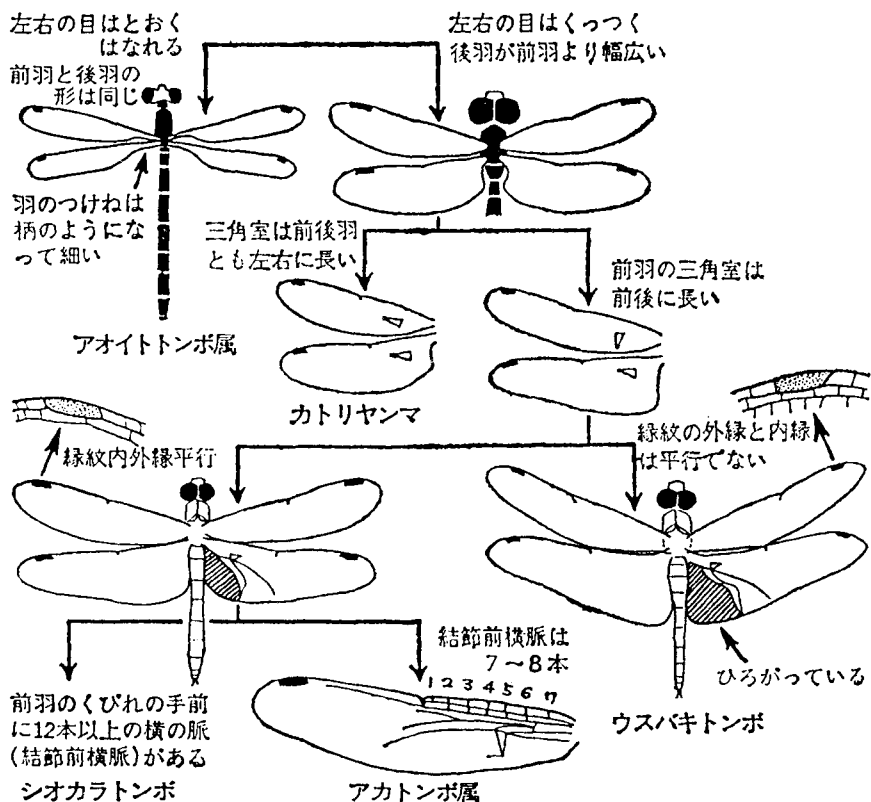
大井町の鳴く虫

● 図は「野外探検大図鑑」(小学館)より

10月

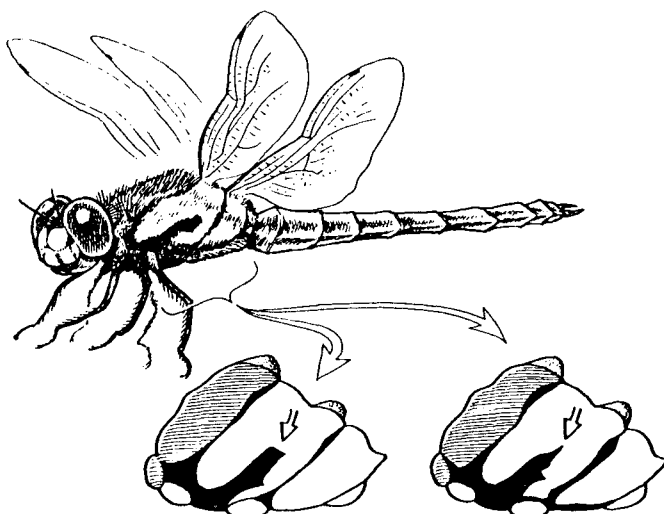
10月10日

アカトンボと他のトンボを見分けました。アカトンボにもナツアカネとアキアカネがいます。大井町ではどちらも見られます。



晩秋のトンボの絵解き検索

日浦勇「自然観察入門」(中公新書)より



左図はナツアカネ

右図はアキアカネ

矢印の黒ずみが第1側縫線で、その先端の状態で区別できる。

ナツアカネとアキアカネの区別点
(胸部の側面図)(朝比奈)

〔観察記録〕

1) アカトンボが飛ぶのを見た

年 月 日
(場所)

2) ナツアカネとアキアカネを区別できた

年 月 日
(場所)

小笠原英明「身近な昆虫」(誠文堂新光社)より

11月

11月11日

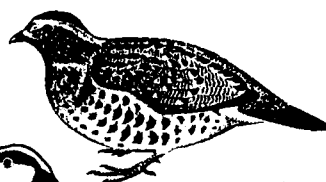
雑木林で野鳥を観察しました。シジュウカラ、メジロ、エナガ、コゲラの混群が出来ています。



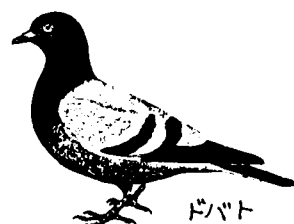
スズメ



ムクドリ



コジュケイ



ドバト



メジロ



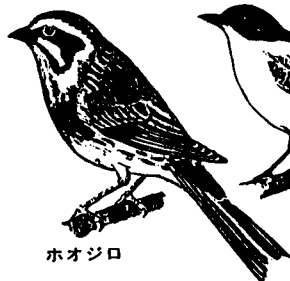
モズ



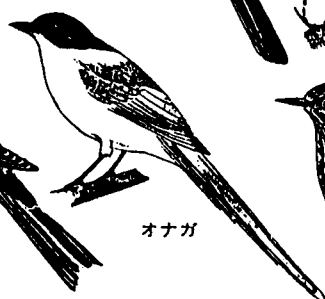
エナガ



ビンズイ



ホオジロ



オナガ



ヒヨドリ



キジバト

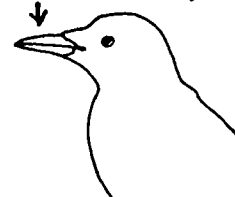


ハシブトガラス

ハシブトガラス



ハシボソガラス



● 出典 栄口哲一・佐野裕彦「とり」
(文芸春秋出版、1990)、「自然観察
自由研求の糸引き」(東洋館出版)

〔観察記録〕

1) 1993年11月14日とんり遊歩道での記録種11種です (観察できた種をチェックしましょう)

☐ ヒヨドリ ☐ ホオジロ ☐ イカル ☐ シジュウカラ ☐ コゲラ ☐ エナガ
☐ メジロ ☐ ビンズイ ☐ ハクセキレイ ☐ ムクドリ ☐ ハシボソガラス

2) 1993年11月に町内各所で記録された他の種です (観察できた種をチェックしましょう)

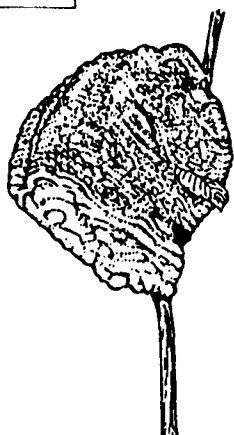
☐ ノスリ ☐ コジュケイ ☐ シメ ☐ カケス ☐ オナガ ☐ アオジ ☐ キジバト
☐ キジ ☐ アマツバメ ☐ モズ ☐ ジョウビタキ ☐ ウグイス ☐ ヤマガラ

● 他の種類 ☐ ☐ 年 月 日 (場所)

12月

12月12日

草むらのナガコガネグモの卵のうを見つけました。
いろんな卵塊やまゆに気がつきます。



オオカマキリ



コカマキリ

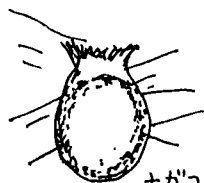


ハラヒロカマキリ



カマキリ

＜カイガラムシの特徴＞ ▼

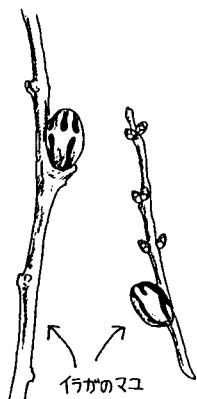


ナガコガネグモ
の卵のう

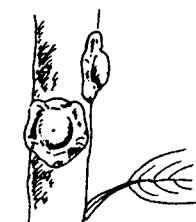
イラガの寄生者
イラサリバエイボウ
の幼虫



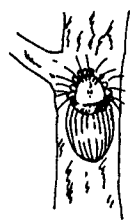
イラガが羽化
したあとのマユは
頭頂部が丸く
はなれている。



イラガのマユ



ツノロウムシ



ワタフキカイガラムシ



オオワラジカイガラムシ



ルビーロウムシ



ヒモワタカイガラムシ

〔観察記録〕

1) クモの卵のうを見た

☞種類

年 月 日(場所

)

2) カマキリの卵を見た

☞種類

年 月 日(場所

)

3) イラガのまゆを見つけた

☞種類

年 月 日(場所

)

1

月

1月1日

ハチの巣を集めました。もうハチは入っていません。市街地ではセグロアシナガバチの巣が多いようです。

- ・巣穴が黄色い
- ・巣穴が黄色くない

穴の直径が8mm以上
巣の上面はカサの形



巣の上面はたいら キアシナガバチ



セグロアシナガバチ

巣穴の直径が6mm以下
巣の上面は強く反り返る
巣の柄は端



巣の上面はたいら
巣の柄は真ん中 コアシナガバチ



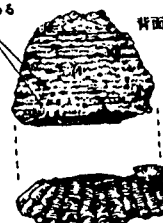
フタモンアシナガバチ

巣穴付近が黄色い



キボシアシナガバチ

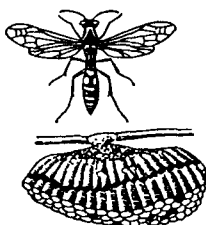
巣の上面はたいら
巣の柄は端
開孔がある



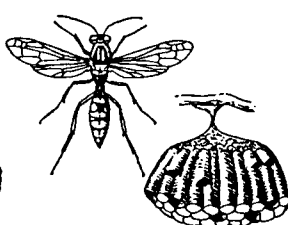
ホソアシナガバチ

アシナガバチの種類と巣の形

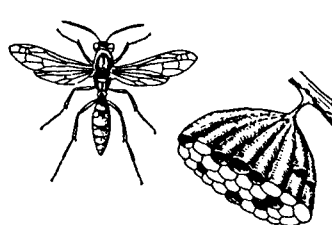
フタモンアシナガバチ



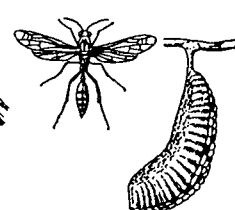
セグロアシナガバチ



キアシナガバチ



ホソアシナガバチ



〔観察記録〕

1) アシナガバチの巣を見つけた

①種類

年 月 日 (場所

)

2) スズメバチを見た、どんな行動をしていましたか

①行動

年 月 日 (場所

)

3) ハチに刺されたことがありますか

①どんなとき

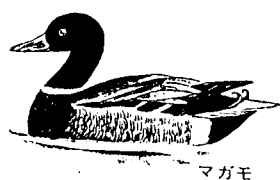
年 月 日 (場所

)

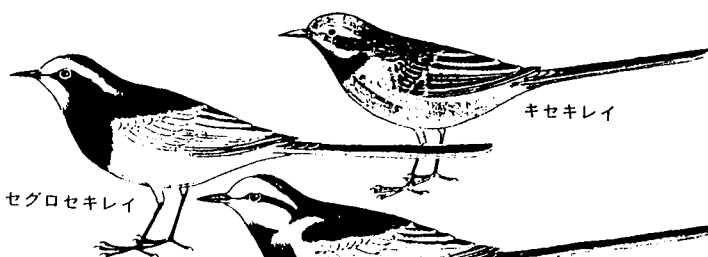
2月

2月2日

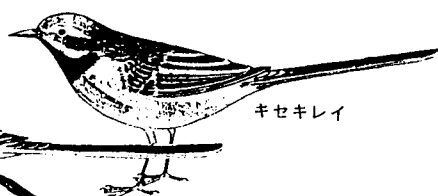
かから
河原ではいろんな鳥が見られました。マガモのオスの美しい配色にはびっくりしてしまいました。



マガモ



セグロセキレイ



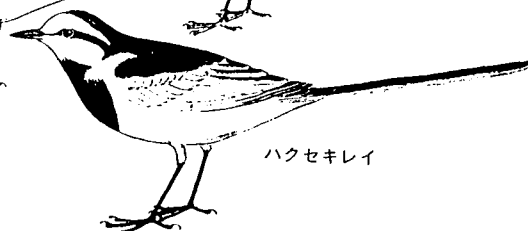
キセキレイ



コガモ



オンドリ



ハクセキレイ

■ 1993年2月2日 酒匂川での記録種 22種 (観察できた種をチェックしよう)

- ☐ トビ ☐ セグロカモメ ●観察日 年 月 日 ●場所
☐ ハシボソガラス ☐ カシラダカ ☐ ジョウビタキ
☐ セグロセキレイ ☐ スズメ ☐ モズ ☐ タヒバリ ☐ ツグミ
☐ ハクセキレイ ☐ キジバト ☐ カワラヒワ ☐ ヒヨドリ
☐ アオサギ ☐ チュウサギ ☐ コサギ ☐ イカルチドリ
☐ カルガモ ☐ マガモ ☐ コガモ ☐ カイツブリ

■ 2月に町内で記録された他の種

- ☐ ハイタカ ☐ ノスリ ☐ コジュケイ ☐ キジ
☐ ヒメアマツバメ ☐ コゲラ ☐ ルリビタキ ☐トラツグミ
☐ オオコノハズク ☐ アカハラ ☐ シロハラ ☐ ウグイス
☐ エナガ ☐ ヤマガラ ☐ シジュウカラ ☐ メジロ
☐ ホオジロ ☐ アオジ ☐ シメ ☐ ムクドリ ☐ カケス
☐ ハシブトガラス

■ 上記以外で観察された種を記録しておこう

年 月 日 種類 _____ 場所 _____

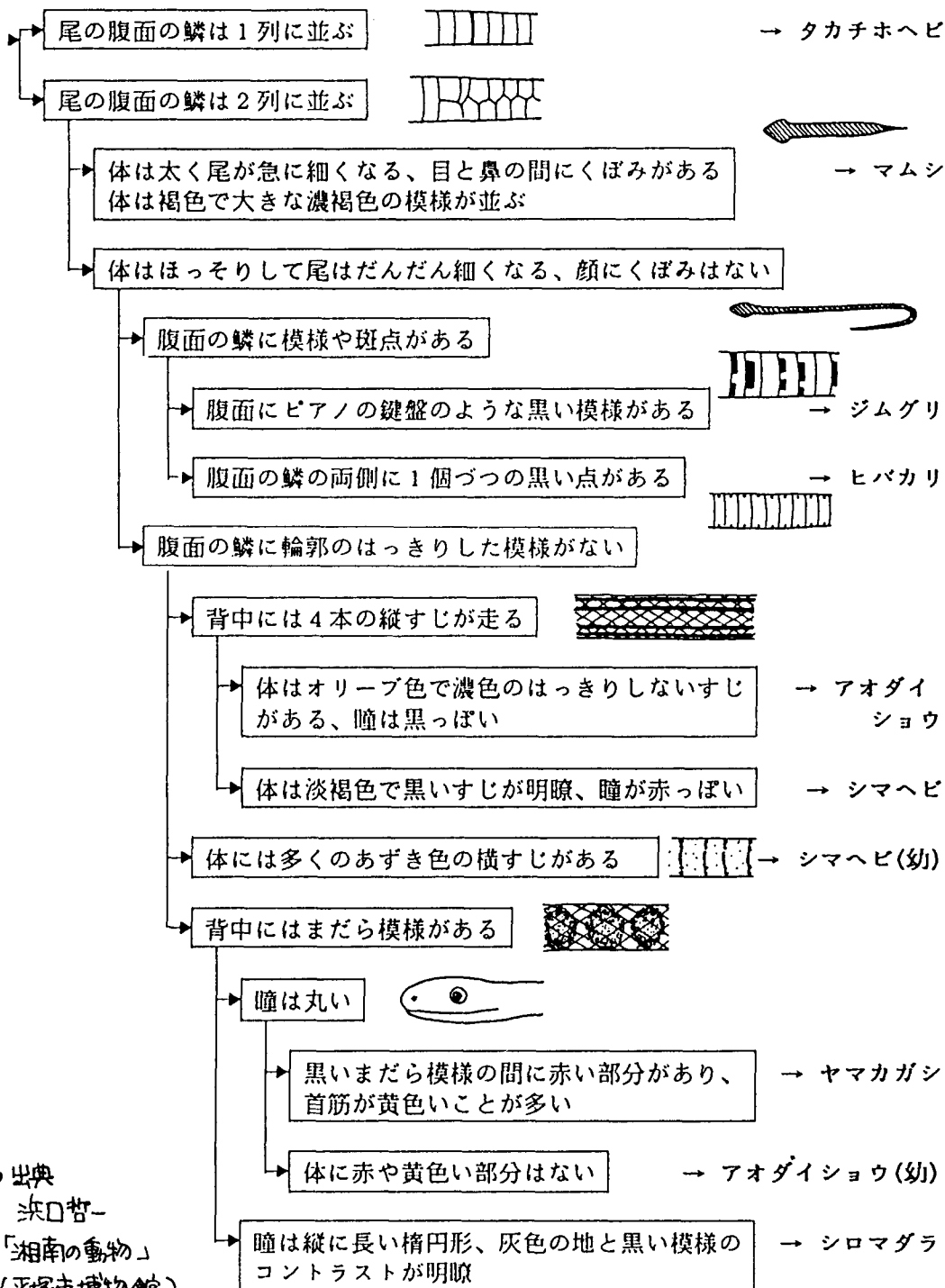
3月

3月3日

もうすぐ土の中から生き物が出てくる日です。

ヒキガエルやヘビなどたくさんの動物が姿を見せます。

●ヘビの見分け方



●出典
決口哲一
「湘南の動物」
(平塚市博物館)

あとがき

大井まちづくりコミュニティ研究会・自然観察班では、月1回、大井町の動物や植物を観察する機会を設けてきました。特に昨年と今年は観察した生き物の記録をきちんと残すよう心がけてみました。自然観察会に参加するというかたちで、調査に協力してくれた方々のお名前は下欄に記録しました。

他の図鑑類の引き写しでない図や写真、データをのせたかったのですが、編集者の能力不足から、それはできませんでした。図やデータを利用した場合はそのつど出典を書くようにしました。

よりよい自然観察ガイドになるように今後とも御協力下さい。

《編集・解説》 池田博明 TEL. and FAX. 0465-82-2105

《観察会指導、または資料提供》曾根康明（鳥類）、一寸木肇（ツバメ）
酒井春彦（鳴く虫、アリ類）、池田博明（クモ類、その他）

《調査参加者》 瀬戸雅子、瀬戸基生、瀬戸恵、田淵敏子、田淵行政、
藤沢文彦、藤沢ひろ子、府川栄一、二上光子、二上普平、二上史生、
鈴木和夫、鈴木絹代、安田政俊、福田光子、福田真未、瀬戸勝至、
本川義美、本川詩子、本川理恵、本川倫子、風間秀泰、大橋邦夫、
大橋あすみ、小松民子、小松知広、小松明広、小松三希子、上西拓、
小宮紗恵子、府川弘美、府川佳史、諸星俊雄、諸星洋子、諸星弓子、
酒井葵、酒井閑香、町田誠、町田正和、島村幸太郎、隅田真里奈、
隅田帆香、大崎志乃、室橋政子、室橋愛美、室橋宝、野村シヅ子、
田中伸幸、松島健一、一寸木純子、池田千洋 （順不同）

1993年4月～1994年10月

この冊子の問い合わせは下記へ

「コミュニティ研究会活動報告書」 Vol.9 発行日 平成7年3月31日
発行所 大井まちづくり「コミュニティ研究会」発行責任者 藤沢文彦
〒258 神奈川県足柄上郡大井町金手966 電話 0465-82-3091